

令和3年度 課題解決推進事業交付金 活用事例

城島地区「城島地区地域活動推進会議」

城島地区多世代協働による花の里づくり事業

「事業目的」

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴い、異世代の交流が失われてしまった。

小、中学生、若年層、高齢者がともに畑の整備や花の植え付けを行い、異世代交流の場をつくる。



「事業の内容」

城島小学校の4年生の児童、高齢者他各地域団体の皆さんが協力し合い、畑の整備や花の植え付け、水やりなどを行う。

また、児童達には花の植え付け後、花の種子の発芽率、葉ボタンの季節の中での変化などを観察する学習の場を提供し、花に親しみ、地元愛を感じてもらえるような機会を設ける。

下島、大島、小鍋島、城所の4地区に各500鉢の花の株を配り、多世代が協力し合い花畑を作る。



「交付金の活用内容」

花の購入

「事業の成果」

この事業を通して、様々な世代の人たちが関わり合い、異世代交流の場を作ることができた。

また、児童達には、花の勉強会、観察、スケッチ等々の活動を通して、花に親しむとともに、地元愛を感じてもらえることができた。

この事業を機に、様々な年代の人たちの絆が深まり、気軽に挨拶をし、会話ができるような地域活動に繋げていきたい。

